対話集会は部落で関心のある問題から

役所の独り合点ではいけない。住民の声をきき、これを町政に反映する運営を考えなければなりません。

そのために、何でも聞けるように、何でも聞いて貰えるように、常にその途を身近に開いておかなければなりません。

理美容院に備えた"町長への手紙"制度の復活も、一つの途です。新年度から、各部落単位に希望や、不満などを話し合う集会をひらくことになります。

この集会を、実のあるものにするためには、どのようにしたらよいか。市街地をのぞく（会場などの都合で）民長さん、組長さんに各学区ごとの会場に出集りいただき、ご意見をききます。

この集会は、開催日まで時間的ゆとりがなかったため、学区単位ということで会場によっては少きます。

この声を一日も早く実現しようと、総部落総報編集委員会は、昭和50年度放送局連盟（全国民長）は、運動方針としてとり入れ国政当局に対し強く働きかけることになりました。

「快適が停車しても、千葉駅までは、便利ではならない。東京通勤快適の実現を」という声をよく聞きます。

この声を一日も早く実現しようと、総部落総報編集委員会は、昭和50年度放送局連盟（全国民長）は、昭和50年度放送局運動方針としてとり入れ国政当局に対し強く働きかけることになりました。

東京通勤快速の実現をめざす

現在、房総東線、西線、成田線は、すでに運行されており、総武本線だけがとりのこされています。

東京通勤快速の運行には、電車を通る基礎が必要です。千葉駅のホームの増設などが関係し、いろいろ問題があるとおもいますが、町民のご協力によって一日も早く実現したいとおもいます。

保健医療問題協議会 近く発足

八街町総合病院調査員会は、昭和46年11月に発足し、調査研究を重ねてきました。

本年一月二十八日の委員会で協議の結果、発足に伺消することになりました。

地方債で大きな比重を占める 簡保資金

町がいろいろな建設事業を行なう場合、その事業に充ずする財源は、みなさんから納めていただく税金のほかに、国、県補助金、その他の借入れ金のことで、しかし、この借金は、みなさんが納めていただくものでなく、国が許可する適債事業に限られています。

道路の整備や、学校、保育所などの建設、環境の調整などの場合、建設費の中で大きな比重をしめているのが、「郵政簡易保険保険積立金還元融資」。いわゆる簡保資金と呼ばれるもの。

なお、八街町郵政医療問題協議会（仮称）を近く組織し、総合病院の設置、ならびに休日夜間門診の設置などについて調査研究を、し、実現をめざすことになりました。

広報コンクール写真部門で三位に入賞

毎年、県の広報協会が中心となって、広報紙のコンクールがひらかれています。

昭和49年度コクーン写真部門で、3位に入賞しました。

入賞されひさしぶりのことで、ちょうど〇〇号を迎え表紙を飾新事業の紹介に、広報紙の踊躍進を、より親しまれる広報紙の踊躍進めをそうとしたとでもあり、非常に嬉しく思います。

なお、入賞作品は、十二月号の表紙の写真です。

広報紙に身近かなできごとなどを

「身近かなできごとを広報紙に」というアンケートの声をとりあげるため、みさんんのご協力をお願いします。

みなさんの部落ぐループ、婦人会、青年年団などについてのニュースを、役場企画課広報係にお知つてください。お通話をいただければ、係がいらい取材します。できごとの原稿を送っていただく、部落通信員制度も考えています。この制度をぜひ、身近かなできごと"を取材するためのアイデアオノ。

山本久吉先生に医療功労賞読売賞

医療一筋に五十年、医は仁術をモットーとする。

上砂の山本久吉先生（72）が、三日読売新聞社主催、厚生省などの後援、ヤクルト本社協賛の第三回医療功労賞読売賞を受賞しました。

この医療功労賞は、難品なり悪まれない医療環境の中で診療する医師に毎年贈られるものです。

診察をする山本先生

山本先生は、町内の人は、ほとんどが知っているように、身なりには、一向にこだわらず、およそ医師と感じられないような出袋をして町民のほか、中央中、二州小の二校の校医務めるほか、二州第一、第二保育園の園医などの公職もつとめられています。

国民年金の障害年金は、「国民年金に加入した場合に加入中に障害の状態になった病気やけががもとで障害者になった場合に支給されます。国民年金に加入するのは二十才からとなっています。二十才に満たない時、病気やけがや先天性の身障害で障害になっている人には、年金が支給されないことになります。これは、せっかく二十才になるまで、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けていても、二十才になると国からの手当が打ち切られてしまうのです。不公平ともいえます。

そこで、これらの人には二十才から障害福祉年金を差し上げることになっています。障害福祉年金は、障害の病因となった病気やけがが二十才前にすでにあっていると、二十才をすぎてからその病気やけがが治ったときは、治った月の翌月から支給されることになります。

障害福祉年金の支給対象となる障害の程度は、昭和四十九年九月の改正により、これまでは、年頃十三万五千六百円、月頃一万一千三百円）、二級は年頃九万四千（月頃一千五百円）に引き上げられました。

なお、障害福祉年金は、収入が多い方、国民年金以外の収入を受けている方には、支給の制限があります。

二十才前に重い病気にかかった人には、二十才になったときに役場年金係で相談されるよう、おすすめします。

障害者で二十才になった人には

片岡清喜雄さんから＝お礼の手紙＝

新年おめでとうございます。私儀一月十日王年過ぎ、八街町役場住民課受付に住民票を頂き に参りました。とこころ、係がお嫁さんが食事中にもかかわらず、すぐ、丁寧に、親切に応対してくれました。その親切の姿が余りにもおくゆかしく感銘致しました。立派な職員ですので一筆お礼申しと上げます。

そこで、これらの人には、二十才になったら、国民年金の加入をすすめていこうとしたのです。

この障害福祉年金を受けている方は、支給の制限があります。

障害福祉年金の支給対象

三年間の「保険証」

「保険証」の交付

「保険証」の交付

「保険証」の交付